

最近思うこと



くさべ よしこ
草部 芳彦さん
(野 添)

趣味など

- ・物事に対して興味を持ち、創造を高め、機会があれば実行に移していく。
- ・人との対話。

地域社会って何だろう？
ふっとそんなことに思いを馳せる今日です。

私がこの地の団体へ係わる様になって五十数年、子供会入会を始めとして、あらゆる組織と係わりを持ってきました。

それは地域で生活をしていく上での道程でありました。

そんな積み重ねの中で出逢う人々との深い人間関係がひとつずつ出来てきた様に思えます。

『共に歩み、共に築く、心豊かな社会づくり』が地域の組織の目標であると思います。私も色々お世話させて頂く中で、感動や心の温もりを数え切れない程頂きました。そしてそれが私のボランティア活動の原動力となっています。

しかし私が指導者側の立場になって、社会活動をしかけて三十余年の歴史の中で、社会も情報化が目を見張る様になり、各地域の住民も経済の高度成長と共に、短い年月の間に旧住民と新住民が渾然一体となり、社会が多様化され、積み重ねの中で築かれてきました『心のつながり』を基本とした地域組織の形態は、成り立たなくなってきた様に思います。

私のボランティア人生の中に十八年程、自治会のスタッフとしてセンターから、又サイドから係わってきました。その経緯の中から従来の伝統的な手法の取り組みを考え直さなければならぬのではないかと感じています。地域における各種

団体が、どんな夢を膨らませ活動していくのか、基本はやはり『心豊かな地域』であることだと思います。スタッフに任せ、傍観者や評論家になる前に少々の『心』を提供する。そんな素敵なまちづくりが出来れば、次なるスタッフの心配も無く、円滑に地域づくりが行われると思います。

いずれにしろ沢山の人の温かい思いで成り立っている組織です。大切に大切に積み重ねていかなければならぬの思いです。

私の住居はJR土山駅の近くにあり。いよいよ長年の願いでありました南側からの駅利用が目前となってきました。播磨町の玄関口としての顔がどう造られていくのか、工場跡地の素晴らしい利用方法が大いに期待されます。当該地域の自治会としましては夢見るばかりです。

わんぱくはりまっ子



けん 憲くん
(1さい) 野添

優しく明るく
元気な子に育ってね
(お父さん・お母さんより)



かずと 一翔くん
(2さい) 古宮

元気で笑顔のかわいい子でいてね
(お父さん・お母さんより)

子育てについて思うこと

教育委員会教育推進室 木下 康雄



「子どもが悪いとか、学校が悪い」という前にまず、自分自身が変わってみませんか。
私たち、大人自身が変わること、そして子どもたちを温かく見守り、支えてあげること。
何も難しく考えるのではなく、身近なことから、それも長続きすることから始めたらどうでしょう。

子どもは「社会を映す鏡」： そんな考え方に立ってみると、私たち大人がしなければならぬことがたくさんあります。

子どもは、親の言うことを聞かなくても、親のすることをもまねるといいます。

無言のうちに子どもは、親の生き方を感じています。自分自身も子どもの言動を見たり、聞いたりしてドキッとすることがあります。

もちろん、親とずっと一緒に過ごしているわけではありませんが、親の生き方が、良きにつけ悪きにつけ鏡になっていることがよくあると思うのです。



このコーナーにいていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳～5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらっても構いません。

いっしょに あ・そ・ぼ

蓮池保育園



▲みんなでダンゴ虫ごっこをしました



「今日は、どこへ行くのかな」

園庭の花々もきれいに咲き、小さな虫たちも元気に動きまわっています。「おはよう」と登園してくると、「虫探してくるわ」と、ダンゴ虫、てんとう虫、カエル探しと、走りまわっている子どもたちです。

園庭だけでなく、前庭や近くの公園まで、虫探しの散歩。「ここにおけるかな?」「僕らがダンゴ虫になったら一緒に遊ぼういうて、出てくるかもわからへんで」と、ダンゴ虫ごっこが始まります。

草花のおいをかきながら、自然とたわむれるのに一番の季節。

お家の人と一緒に、楽しいな!!

播磨幼稚園



5月24日(土)、今日は待ちに待った「ふれあい運動会」の日です。「お父さんが来てくれるねん!!」「おばあちゃんも!!」と子どもたちは大張り切り。

年少児は大好きなお母さん目指して「よいい、どん!!」とこうえんにいきましよう。と手をつないでお散歩も楽しめました。そして「お母さん、ガアガアこうするんだよ」と得意の「チキンダンス」を教える年中児。年長児はお家の人と息をあわせて「いち、に、さくん!!」と高くジャンプしたり、逆上りをしたり、最後は肩ぐるまをもらい、ハイ、ポーズ!! 力持ちのお家の人に驚きました。

子どもたちもお家の人も、にこにこ笑顔。心も温まる「ふれあい運動会」になりました。

たくさんの 未来と夢ある はりまっ子 「1年生と遊ぶ会」

播磨小学校



▲プレゼントもらったよ!

これから1年間、6年生が最上級生としての自覚と責任、下級生に対する思いやりの心を持って、異学年児童が仲良く協力しあえる人間関係を築いてくれると期待しています。

遊び券(6年生)と、大事そうに手さげにしまふ姿がとてもかわいかったです。

全校生を縦割りで12のクラスに分けた「はりまっ子クラス」。5月21日(水)に、新しい1年生を迎えて「1年生と遊ぶ会」を行いました。

それぞれのクラスをリードするのはもちろん6年生。1年生が楽しめることを第一に、考え工夫した遊びは「田の字おに」や「転がしドッジ」、「だるまさんがころんだ」など多数。1年生だけでなく、どの学年の子どもも楽しく、仲良く過ごすことができました。

また、全校生が1年生にプレゼントを準備。手紙とメダル(2年生)、紙コップのけん玉(3年生)、スライム(4年生)、かんむり(5年生)、遊び券(6年生)と、大事そうに手さげにしまふ姿がとてもかわいかったです。

チャレンジデーで 熱&燃

播磨中学校



▲一致団結して「ソーレ!」

1・2年生の、学級が一丸となり、『おおなわ跳び』で大歓声!! 5分間の限られた練習時間で1回以上跳べたクラスが11分の3。不安なスタートでしたが、ベスト4に勝ち残ったチームは、2分間で20回以上跳べるようになっていました。まさしくチャレンジ。試合が進むにつれて、生徒の意識と集中力の高まりがうかがえました。

「みんなが団結し、優勝にたどりつけた」「頑張ったらできるんやナア! 優勝マジでうれしかった」(2-6 浜辺翔太・北山香保理)「チャレンジデー、みんなと協力しあいたい日だった」「先生も私たちもけっこう燃えていた。思い出の時間」

(2-1 藤原良太・大國春香)「みんなが協力するというのは、大事なことでだと思う」「声をかけ合って、必死で頑張った。クラスの団結力は、ここにも負けない」(2-3 山田浩資・高見明世)

